

CARAVAN TO THE FUTURE

サハラと未来をつなぐ遊牧民たち

Caravan to the future 上映会

デコート豊崎アリサ初監督作品

上映会&豊崎アリサ監督トークショー

とき：2023年9月9日 10:00~

ところ：信毎メディアガーデン3階スタジオ

おだい：一般1,500円 学生：750円

主催：信州イスラーム世界勉強会

後援：信濃毎日新聞社

トークショーは、豊崎アリサ監督・鶴飼哲一橋大学名誉教授・岩田渉氏による鼎談です。上映会に参加いただいた方は、同日午後開催予定の【世界の中の日本の中東・イスラーム報道の「これまで」と「これから」】に無料で参加いただけます。豊崎アリサ監督も自由討論に参加されます。



ニジェールの荒涼とした山脈。トゥアレグ族のキャンプ地では塩キャラバンの一隊が旅の準備を仕度する。テネレ砂漠を横切ってビルマ・オアシスを目指し、更にそこからナイジェリアの砂漠にたどり着くまでの準備を。その中に一人の外国人女性がいる。千年も昔より続けられてきたサハラ砂漠の東からブラック・アフリカの入り口までの三角点を渡るこの旅を体験し、生きるために彼女はこの旅に同行しているのだ。キャラバンの経済効果は？その社会的な役割とは？トラックではなくラクダによる物資の運送にはどのような長所があるのだろうか？四月月にもわたる長い旅の中で彼女は気づいた。彼らは時代遅れの矢われつつあるキャラバンではなく、未来に向かい希望をもたらすキャラバンなのだという事。



フランス・アフリカ・日本を舞台に活躍する ジャーナリストのデコート豊崎アリサの初監督作品。

「トゥアレグ族」、世界中の音楽ファンを魅了しているトーマスト、タモクレスト、ティナリウエンといったトゥアレグのバンドの音楽に触れて、ニジェール、マリ、アルジェリアのサハラ砂漠の過酷な環境に生きる人々の秘話を聞いたという人は少なくないのではないでしょうか。本作は、フランス・アフリカ・日本を舞台に活躍するジャーナリストのデコート豊崎アリサが、ソーラーパネル発電エネルギーのみを用いて、トゥアレグ族の「塩キャラバン」の4ヶ月間にわたる過酷な旅に密着取材したドキュメンタリー映画です。古来より受け継がれているキャラバン隊の営みと、その自給自足の仕組みを撮影・記録しました。昨年末にアップリンク長巻にてプレミア上映された本作のレイトショー上映が決定！上映期間中は監督やゲストを招いてのトークショーを連日開催する予定です。



デコート・豊崎アリサ | Alisa Descotes-Toyosaki
ジャーナリスト | サハラ・エリキ乗車

日本人の母とフランス人の父を持つ、二つの文化の潤いを飽きずらに育ったデコート・豊崎アリサは、ジャーナリストという職を自らの生き方として選んだ。2006年にトゥアレグ族の密着取材を遂げるためにサハラ・エリキ乗車を決定。以来、彼女はキャラバンの一員として旅の日々を送っている。彼女のジャーナリストとしての活動は2011年の東京日本大使館を襲撃事件に巻き込まれる。2018年にはトゥアレグ族の男性と結婚。現在はパリ・東京・ニジェールという三つの拠点を移り住みながら、活動する時代と人種のカルチャーに焦点を合わせ、ニジェールのワラン塩山などでよりスケールが大きいドキュメンタリーを撮る。主にフランスや日本のメディアを通じて発信している(GEO MAGAZINE, DAYS JAPAN 等)。



監督・撮影：デコート豊崎アリサ | Alisa Descotes-Toyosaki
製作：SAHARA-ELIKI | 編集：ヴァネッサ・ザンボニアルディ | Vanessa Zamboniardi | 日本語字幕監修：奥川貴(UP7ZUG)

トゥアレグ 自由への帰路
TUAREG
デコート 豊崎アリサ

本当の自由はどこにあるのか？

「本物の世界」を求めて、遊牧民の暮らしをアフリカに旅に出たら、そこで待っていたのは放射能に汚染された砂漠だった。
イースト・プレス

推薦：
石田昌隆さん
篠原勝之さん
ビーター・バウカンさん

トゥアレグ 自由への帰路 日本旅行作家協会 第8回「斎藤茂太賞」受賞！

デコート豊崎監督の著書、「トゥアレグ 自由への帰路」にサインをご希望の方は、ご購入の上当日会場へお持ちください。右記のQRコードからもご購入いただけます。

